

# 日刊建設工業新聞

令和4年11月17日(木曜日)

## 中止、中断された ダム事業の再開を

自民党・足立参院議員  
参院災害対策特別委で



自民党の足立敏之参院議員が16日の参院災害対策特別委員会で、各地で頻発している豪雨災害への国の対

応を質問した。足立氏は気候変動の影響に考慮し河川整備基本方針を見直していく必要性を訴えた。民主党政権時代に中止または中断されたダム建設事業にも言及。「中止、中断されたダム事業も再び検討対象に加え計画を見直すことが必要ではないか」と述べ、戸草ダム（長野県伊那市）や戸倉ダム（群馬県沼田市）の建設再開を求めた。

国土交通省の岡村次郎水管理・国土保全局長は「事前防災対策となる河川整備の対策メニューをこれまで以上に充実させる必要がある」と話した。足立氏が訴えたダム事業の再開にも触れ、「過去に当時の社会情勢で中止になつたダムなどの施設も選択肢から排除せず、さまざまな対策案を比較検討し流域全体の安全度を早期に充実させるよう図つていく」と述べ、あらゆる関係者が協働する流域治水の可能性として考えていくことを明らかにした。

足立  
議員

## 気候変動も考慮した対策を主張

自民党の足立敏之参院議員は16日の参議院災害対策特別委員会で、今夏の豪雨や台風によって各地で深刻な被害が発生したことを踏まえ、治水面でダムが担う役割が大きいことを強調した上で、「気候変動の影響も考慮して、中止となったダム事業を復活させるべき」と主張し、国土交通省の見解をただした=写真。



### 参院災害対策特別委

この質問に対し、国交省の岡村次郎水管理・国土保全局長は、気候変動による降雨量増大の影響も考慮した流域治水の重要性を述べた上で、「河道掘削などの対策に加え、中止となったダム事業も選択肢から排除せず検討する」と答弁した。これは中止ダム事業が再開する可能性もあり得ることを示唆したといえる。

足立議員は、事業中止となったダム事業の具体例として、水資源機構が群馬県片品村で進めていた戸倉ダムと、直轄による長野県伊那市の戸草ダムを挙げ、既に一定程度用地補償が進んでいたと指摘。両ダムとも、地元から事業再開を求める声が上がっていると訴えた。

2020年7月豪雨による熊本県・球磨川の甚大な被害を受け、中止していた川辺川ダム事業は既に再開している。

中止ダム事業も選択肢から排除せず検討

建設通信新聞

令和4年11月17日(木曜日)

## 【参議院災害対策委】足立敏之議員が質問「中止ダムの復活検討を」



ダム事業の復活を訴える足立議員

16日に開かれた参議院災害対策特別委員会で足立敏之議員が質問に立ち、地球温暖化に伴う気候変動の影響を踏まえ「かつてさまざまな社会情勢等により中止を余儀なくされたダム事業も再び検討の対象に加えて、計画の見直しが必要ではないか」との考えを示した。具体的には、長野県の戸草ダムと群馬県の戸倉ダムを例に挙げ「ぜひとも復活させるべき」と訴えた。

国土交通省水管管理・国土保全局の岡村次郎局長は「気候変動による降雨量の増大に備えるにはあらゆる関係者が協働で行う流域治水を推進し、事前防災対策を加速化することが重要。根幹となる事前防災対策である河川整備も、あらゆる方策を流域全体で検討し、対策メニューをこれまで以上に充実させる必要がある」との考えを示した上で「具体的には河道掘削や堤防、遊水地、ダムの整備等に加えて既設の利水ダム等の有効活用、さらには過去に当時の社会情勢から中止となったダム等の施設についても選択肢からは排除せず、さまざまな対策を比較検討し、流域全体の安全性を早期に向上させるよう対策の充実を図る」と答弁した。

また足立議員は、公共事業に縛りが多く、業界の施工余力を疑問視する報道に触れ「縛りが多いということのみを持って施工余力がないのではないかという議論は適切ではないのではないか。実際の契約率を見ると、ほとんど執行できている」と強調。国交省の宇野善昌大臣官房長も「国土交通省の公共事業関係者は今年8月末現在で2022年度予算は約71%、21年度補正予算は約79%が既に契約されており、執行は順調に進んでいる」としながら「最終的には繰り越した分を含め公共事業予算はほぼ全額が執行されており、不用となった金額は近年1%程度で推移している。建設業者の施工余力については建設技能労働者の過不足率は総じて落ち着いてきており、ICT施工等の増加により施工効率も向上している」と述べ、業界団体からの声も踏まえて「十分に施工余力があり、特段問題はないと考えている」との見解を示した。

